

## 緑の担い手

# 「緑の雇用研修」 を受講して

常陸太田市森林組合  
室井良祐



私は、今年、県立日立商業高校を卒業し、森林組合に就職しました。就職を希望した理由は、学校にあった林業の求人票を見て気になったからです。林業は、どんな仕事なのか自分なりにインターネットで調べて見てチェーンソーや高性能林業機械に興味を持ったからです。

早速、今年から緑の雇用研修に参加し、一年目研修を受講しています。商業高校出身だった私は林業についての知識は殆どありませんでした。

そんな私に、組合から「緑の雇用研修」を勧められ受講することになりました。

研修では、林業の先輩方を講師に迎えて行う現場での実習や座学、また、現場作業に必要な機械類の資格取得があります。一年目の研修を約半年受講して、多くの知識の習得の他に、講師の方が実際に体験した事故や危険な体験の話の聞いたり職場の先輩とのコミュニケーションの取り方などを学びました。特に事故の体験など、教科書に載っていないような話を聞くことができたのでとても為になりました。

現場実習では、自分が行っている作業を講師の方に見て頂き、間違っていることを直接指導していただき、自分では気がつかないミスがよく分かり勉強になりました。また、伐倒作業でのチェーンソーの操作について、受け口と追い口の作り方について指導して頂きました。直接指導を受けたことは、印象に残るので、実際の作業では、思い出しながら気をつけています。

来年度以降も、二年目、三年目と研修は続きます。さらに、多くの知識と資格を取得できると思うと、とても楽しみです。

私は、これから現場で多くの経験を積み一人前になれるように頑張っていると思います。また、安全な作業を心がけて、ケガをしないように気をつけていきたいです。